

事業概略書

若年性認知症に対する効果的・的支援に関する研究事業  
社会福祉法人 仁至会 （報告書 A 4 版 1 頁）

事業目的

若年性認知症の支援に関しては、「医療」「福祉」「就労」の連携が欠かせないがまだ十分でない。若年性認知症のデイケアでは、高齢者に対するものとは異なるプログラムが必要であるが、従来の介護保険サービスでは、それがほとんど提供されておらず、若年性認知症に対する効果的・的有用な、確立したデイケアプログラムはない。さらに、医療・福祉関係者、行政や企業関係者、地域住民においても理解や認識が不足している。本人や家族が利用できる既存の社会資源や、インフォーマルなサービス等を充実し、それを周知する。本人や家族のニーズに合ったサービスを開発し、生活の質の向上を図るとともに、地域で安心して働き、社会の一員として生活を営むことができるような体制作りを支援する。

事業概要

- 1) 若年性認知症支援ネットワークの継続・発展
- 2) 若年性認知症のデイケアプログラムの開発
- 3) 認知症買い物セーフティネットの構築
- 4) 若年性認知症に関する啓発活動：「若年性認知症を知るセミナー」、ジュニア向けの認知症啓発パンフレットの作成
- 5) 報告書の作成

事業結果

若年性認知症支援ネットワークは医療・介護・福祉関係者、作業療法士などの専門職、認知症の人と家族の会の連携から発展した。ここから発足した若年性認知症の家族会は、今年度も継続した活動を行っており、引き続き支援を行うことで、その中から若年性認知症に関わるさまざまな課題を抽出できる。若年性認知症に適したデイケアプログラムの開発を試み、本人だけでなく、家族にとっても不安を軽減し、生活の質が向上することが示された。日常生活に欠かせない買い物に対する支援が進めば、外出の機会が増え、地域とつながり、認知症に対する理解が深まる。

事業実施機関

認知症介護研究・研修大府センター

〒 474-0037 愛知県大府市半月町三丁目 2 9 4 番地

TEL 0562-44-5551